

日本赤十字九州国際看護大学紀要 執筆要領

日本赤十字九州国際看護大学紀要規程第8条に基づきこの執筆要領を定める。また、本学紀要の編集スタイルは、原則、共同看護学専攻 学位論文執筆要領および米国心理学会 (American Psychological Association, APA) 発行の『Publication Manual of the American Psychological Association, 7th ed.』 (2020) / 『APA 論文作成マニュアル第3版』 (2023) 医学書院 に準拠するが、一部については本学独自のルールを用いる。

I. 執筆形式

- A. 原稿は和文または英文とする。ページ設定はA4版、横書き、48字(全角)×44行、余白は、上下左右20mm程度とする。
- B. 文字設定は、和文の場合は原則MS明朝、英文は原則Times New Roman、フォントサイズは10.5ポイントとする。
数字は特別の場合以外は半角アラビア数字、原則Times New Romanを用いる。また、数字は行をまたがらない。漢数字の代替として使用する1桁の数字の場合は、全角で使用してもよい。
- C. 記号は、原則句読点は全角とする。カッコ()は半角とし、前後に半角スペースを入れる。ただし、閉じカッコの後にコンマ(,)、ピリオド(.)、コロン(:)、句点(。)などがある場合はスペースを入れない。℃、m²、kgなど機種に依存する特殊記号は使用しない。
- D. 数式(=, -, +, ±, ÷, ×, <, >)は半角とし、前後に半角スペースを入れる。
＜例＞ $p < .05$ [p と $<$ の間および $<$ と数値の間に半角スペースを入れる]
- E. カタカナは必ず全角とし、半角では表記しない。「ナース」は「ナース」と表記する。

II. 原稿の作成及び構成

- A. 原稿は本学紀要規程第6条に規定の別紙Word①～④の各様式に沿って作成し、タイトルページのみ別のファイルで提出する。
論壇を除く全ての投稿原稿には、抄録を付ける。
- 1. タイトルページ(タイトル、サブタイトル、著者名、所属、メールアドレス)
 - a. 副題をつける場合、日本語タイトルは全角コロン(:)を使用する。英文タイトルの場合は、半角コロン(:)を使用し、半角コロンの後に半角スペースを入れる。
 - b. 英文タイトルの表記では、メインタイトル、サブタイトル共に、下記の「キャピタライゼーションルール(capitalization rules)」に従って記載する。
 - (1) 表題は語頭を大文字にする(重要な語の最初の文字を大文字にする)。
 - (2) 以下の品詞は、単語の頭文字をすべて大文字にする。
 - ・名詞(patient, efficacy, hemodialysis)
 - ・代名詞(he, she, its)
 - ・動詞(breath, lead, sleep)
 - ・形容詞(high, careful, small)
 - ・従属接続詞(as, because, that)
 - ・副詞(slowly, quickly, quietly)
 - (3) 以下の品詞と不定詞のtoは小文字にする。
 - ・冠詞:a, an, the
 - ・等位接続詞:and, but, or, for, nor など
 - ・前置詞(ただし5文字以下のもの):on, at, to, from, by など次のサイトでは、英文タイトルをAPA様式でキャピタライズしてくれるサービスを行っている。
<http://capitalizemytitle.com/>

- c. タイトルの下に著者名を日本語及びローマ字表記の両方で記入する。その際、どちらも姓を先に記し、ローマ字の場合は姓と名の間にコンマ (,) を入れ、頭のみ大文字とする。

<記載例> 日赤花子 Nisseki, Hanako

2. 和文抄録 (タイトル、サブタイトル、キーワード、要旨)

和文要旨は600字程度。背景、目的、研究デザイン、対象、結果、結論などで構成し、簡潔にまとめる。

3. 英文抄録 (上記②2に同じ)

英文要旨は300字程度。Background、Objective、Design、Subjects、Results、Conclusionなどで構成し、簡潔にまとめる。

4. 本文 (原稿の種類、タイトル、サブタイトル、本文)

- a. 原著論文の本文構成は、はじめに (または緒言)、研究方法、結果、考察、結論、謝辞、文献とする。

- b. 見出しはすべて太字、ゴシック体とする。見出しおよび見出し数字の種類と位置は、レベルによって異なる。数字とアルファベット、カッコは全角とする。ただし、2桁数字の場合、カッコは全角とし、数字は半角とする。また、丸付き数字 (①②③・・・) とカタカナは列挙用に用いるため、見出しには使用しない。

第1レベル : **I. II. III.** … ; 中央に

第2レベル : **A. B. C.** … ; 左に寄せる

第3レベル : **1. 2. 3.** … ; 左に寄せる、イタリック

第4レベル : **a. b. c.** … ; 左端より1字下げる

第5レベル : **(1) (2) (10)** … ; 左端より1字下げる、イタリック

- c. 改行した段落の行頭は1字下げる。

- 5. 図、表および写真は、それぞれ指定された形式で1ページに1点作成し、図、表および写真の上部または下部にタイトル名を記す。ファイル形式は、図および写真はPowerPoint (PPT[X]) またはJPEG (JPG) 形式、表はExcel (XLS[X]) とする。図1、表1、写真1と通し番号を振り、本文中に赤字で挿入位置を明記する。なお、印刷・製版に不相当と認められる図表は、書換えを求められることがある。

Ⅲ. 文献の引用

- A. 文献とは、実際に本文中に何らかの形で引用して使用、もしくは言及した文献すべてをいう。論文執筆に当たって参考までに読んだだけの、いわゆる参考文献は文献には含めない。

- B. 文献は、文中の引用部分の後に () を付し、そのなかに、著者の姓および出版年 (すべて西暦で表示)、ページ数を記入する。カッコ () は半角とし、前後に半角スペースを入れる。ページは通常 (p. ○○) と表記し、ページが複数にわたる場合は (pp. ○○-△△) と表記する。また、コンマやピリオドの記載は次の表記を採用する。英文の場合、コンマやピリオドの後に半角スペースを入れる。

<記載例>

「・・・・・・・・」 (Gordon, 1986, p. 56) という研究結果がある。

- 1. 文献全体がそれについて述べたものであって、特定のページを示すことが難しいものは、必ずしもページ数を表示する必要はない。

- 2. 同一文献を同じ段落で繰り返し引用する場合は、2度目以降の引用の際に出版年を表示する必要はない。ただし、段落が変わるごとに、初出の引用部分に出版年を記す。

<記載例>

- ① Watson (1982) は、次のような見方を・・・ [ある段落での最初の引用]
- ② こうした Watson の見方は・・・ [同じ段落の中で再度引用された場合]

- C. 本文中に著者名が記載されている場合は、その後ろに () を付し、出版年のみ記す。本文中に出版年も記されている場合は、改めて表示する必要はない。文献のページは、当該文章の後ろに記す。

<記載例>

- ① 吉田 (1984) は「・・・・・・・・」 (p. 45) と述べている。
- ② 吉田 (1984) はそれを当時の社会状況と関連づけて論じている (pp. 56-64)。
- ③ 1966年に Corsini & Cardone は以下のように語っている (p. 102)。

- D. 本文中 () 内の著者が1人または2人の場合、すべての引用箇所に著者の姓と出版年、文献のページを記載する。

<記載例>

- ① 「・・・・・・・・」 (三田, 後藤, 1986, p. 56)
- ② 「・・・・・・・・」 (Collins, 1982, pp. 123-124)

著者が3名以上の場合、最初の引用から筆頭著者のみ記して、「〇〇ら (英文の場合は〇〇et al.) 」と略記する。同じ段落内で2度目以降の引用では出版年も省略できる。

<記載例>

- ① さらに、Donaldson et al. (1992) は・・・についても論じている (p. 410)。
- ② 大木らの結論は、・・・である。 [同一段落内で、すでに引用されている]

ただし、著者が3人以上の複数で文中引用が同じ形式に短縮される場合は、文献を区別するために必要な数の名前を書き出し、残りの名前はすべての引用において 〇〇ら (英文の場合は〇〇et al.) . と略す。

<記載例>

- ① 大木, 高橋, 山田, 吉本, 中村, 小山, 鈴木ら (1991) の研究によれば、・・・、
- ② 大木, 高橋, 山田, 吉本, 中村, 小山, 田中ら (1991) が調査したところ・・・
- ③ Smith, Johnson, Jones, et al. (2018)
- ④ Smith, Johnson, Anderson, et al. (2018)

なお、英文の場合、「et al.」の前の名前が1名のみであればコンマは付さず、2名以上ならば、コンマを付す。

<記載例> Donaldson et al. (1992)

- E. 同一著者に同一出版年の文献が複数ある場合は、出版年の後に小文字のアルファベット (a,b,c...) を順に付して区別する。

<記載例> (Clifford, 1993b, p. 56)

- F. 同一著者に複数の出版年の文献がある場合は、姓の後に出版年順に並べ、早いものから記す。

<記載例> (三山, 1998, 2001, 2002)

- G. 著者の異なる複数の文献を同一箇所引用する場合は、カッコの中に筆頭著者のアルファベット順に姓と出版年を記し、著者ごとにセミコロン「;」で区切る。

<記載例>

- ① (小山, 1985; 吉田, 1984a)
- ② (三山, 1998, 2001, 2002; 藤堂, 2000; 四谷, 1999)

- H. 外国語文献の翻訳版を使用した場合は、オリジナル (原書) の出版年と翻訳版の出版年を半角スラッシュ「/」

で結んで記載する。ページ数は翻訳版のものを記す。訳者名は不要。ただし、文献リストには訳者名も記載する。半角スラッシュ「/」の前後にはスペースを入れない。

<記載例> (Collins, 1982/1992, p. 33)

IV. 文献リスト (References) の記載

- A. 文献リストは、著者の名前の表記が日本語であろうと外国語であろうと、筆頭著者の姓のアルファベット順に記載する。
- B. 外国語文献で、著者が二人以上の場合、最後の著者名の前にアンパサンド「,&」をはさむ。
<記載例> Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989).
- C. 著者が 20 人以下の場合は全員の姓名を表示する。外国人の場合も、姓 (ファミリーネーム) を先に、名 (ファーストネーム) のイニシャルのみを後に記載する。著者が 21 人以上の場合は、最初の 19 人の著者名を記載し、省略記号「...」 (アンパサンドは使用しない) を挿入したあと、最終著者を記載する。イニシャルの記載は次の表記を採用する。
<記載例> Auther, A. A. (2001)
- D. 同一著者の文献が複数ある場合は、出版年順に並べ、早いものから記す。同一著者による文献が同一年次に複数ある場合には、本文中の引用箇所の出版年に付した小文字のアルファベット順に並べる。
- E. 記載内容が 2 行以上にまたがる場合、2 行目以降は行頭を日本語 2 文字、アルファベット 4 文字分下げろ。
- F. 文献の種類別の記載は、次のとおりとする。カッコや記号等の記述は、1. 執筆形式に従う。

1. 雑誌掲載論文

著者名 (出版年). 論文の表題. 雑誌名 (外国語の場合、イタリック体), 巻 (号), 頁-頁.

※雑誌名は原則として正式名称、ページの pp. は省く

<記載例>

石川元, 大原健志郎 (1984). 家族療法と非言語. 家族療法研究, 1 (1), 28-37.

丸田すみ子 (1988). 中部山岳地帯における植生と環境変化に関する研究. 社会生物学研究, 12 (3), 45-56.

Uden, G. (1985). Inpatient accidents in hospitals. *Journal of the American Geriatric Society*, 33, 833-841.

オンライン論文の場合、DOI (デジタルオブジェクト識別子) があれば最後に記載し、なければ論文閲覧サイトの URL を最後に記載する。

DOI と URL はいずれもハイパーリンクとして表示する (すなわち、http:// または https:// で始まるウェブアドレス)。

<記載例>

Hatozaki, C., Sakuramoto, H., Okamoto, M., Nakajima, H., Shimojo, N., & Inoue, Y. (2021). Improving antibiotic administration rate for patients with sepsis in the emergency department. *Journal of Nursing Care Quality*, 36 (4), 322-326. <https://doi.org/10.1097/NCQ.0000000000000540>

吉行紀子, 河野あゆみ, 曾我智子, 金谷志子, 堀田邦子 (2016). 要支援高齢者における介護保険サービスの利用パターンと虚弱性との関連性. 日本公衆衛生学雑誌, 63 (3), 135-142.

http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2016/3/63-3_135.pdf

刊行されることが確定し、刊行までの間、早期公開されている場合、早期公開である旨と DOI を明記する。

著者名. (発行年). 論文表題. 雑誌名. Advance online publication. <http://doi.org/xxxxxxxxxx>

2. 図書

a. 書籍 (原書)

著者名 (出版年). 書名 (外国語の場合、イタリック体) (版). 出版社

<記載例>

岡崎寿美子 (1992). 人は痛みをどのように表現するか. 草原社.

Corsini, R. J., & Cardone, S. (1966). *Role playing in psychotherapy*. Aldine.

電子書籍の場合、DOI (デジタルオブジェクト識別子) があれば最後に記載し、なければ出版社の URL を最後に記載する。

<記載例>

Nightingale, F. (1914). *Florence Nightingale to her nurses: A selection from Miss Nightingale's addresses to probationers and nurses of the Nightingale school at St. Thomas's Hospital*. Macmillan and Co.

<https://archive.org/details/b21274101/mode/2up>

b. 編集された書籍のなかに収録された論文

論文著者名 (出版年). 論文表題. In 編者名 (編、洋書は Ed. 編集者が 2 名以上の場合は Eds.), 書籍の表題 (外国語の場合、イタリック体). (pp. 最初-最後のページ数). 出版社

※洋書の編集者名は、名 (ファーストネーム) のイニシャル、姓 (ファミリーネーム) の順に記す。

<記載例>

吉井恭子, 大木陽子, 木村洋二, 高田隆一郎 (1983). 精神医療におけるインフォームド・コンセント. 田中 信子 (編), 人権の思想 (pp. 123-234). 現代出版.

Charmaz, K. (1983). The grounded theory method: An explanation and interpretation. In R. M. Emerson (Ed.), *Contemporary field research: A collection of readings* (pp. 109-126). Little, Brown & Co.

Jackson, J., MacFalda, P., & McManus, K. (1989). Status of nursing shortage and projections. In T. Moore, & E. Simendinger (Eds.). *Managing the nursing shortage: A guide to recruitment and retention* (pp. 1-2). Aspen.

電子書籍の場合、DOI (デジタルオブジェクト識別子) があれば最後に記載し、なければ出版社の URL を最後に記載する。

<記載例>

Haugom, J.V., & Tosterud, R. (2023). The use of critical response process as a debriefing structure in simulation activity in nursing education. In: I, Akselbo., & I, Aune. (Eds.) *How can we use simulation to improve competencies in nursing?* (pp. 65-75). Springer Nature. <https://doi.org/10.1007/978-3-031-10399-5>

c. 翻訳本

原著者名. (原書出版年) 訳者名 (訳) (翻訳本発行年). 日本語書名. 出版社

<記載例>

Collins, R. (1982) 井上俊, 磯部卓三 (訳) (1992). 脱常識の社会学. 岩波書店.

d. ウェブサイト中の記事

オンライン上で閲覧できる論文は雑誌掲載論文、報告書等は書籍の様式に従う。

著者名. (公開日). タイトル (外国語の場合、イタリック体). ウェブサイト名. アクセス年月日 (外国語の場合、Retrieved 日付 From). URL.

※著者名とウェブサイト名が同じ場合、サイト名を省略する。

<記載例>

中央教育審議会 (2008/4/18). 教育進行基本計画について－「教育立国」の実現に向けて－ (答申). 文部科学省. 2025年3月18日アクセス

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm

World Health Organization. (2018, March). *Questions and answers on immunization and vaccine safety*. Retrieved March 18, 2025, from <https://www.who.int/mongolia/health-topics/vaccines/faq>

e. 新聞

著者名 (掲載年月日). 記事のタイトル. 新聞名(外国語の場合、イタリック体), ページ.

※著者名は分かれば記す。

<記載例>

知野恵子, 岩本洋二 (2017/8/25). [解説スペシャル] 災害時 SNS 活用するには. 読売新聞 (東京), 13.

Hess, A. (2019, January 3). Cats who take direction. *The New York Times*, C1.

オンラインのニュースソースに掲載された記事は、次のとおり記載する。

著者名 (掲載年月日). 記事のタイトル(外国語の場合、イタリック体). ウェブサイト名. URL

※著者名は分かれば記す。

<記載例>

Bologna, C. (2018, June 27). *What happens to your mind and body when you feel homesick?* HuffPost.

https://www.huffpost.com/entry/what-happens-mind-body-homesick_n_5b201ebde4b09d7a3d77eee1

f. 著者名・発行日不明の場合

ウェブサイト中の記事やパンフレットなど、著者表記のない記事を表示する場合は、タイトルを著者名として表示する。

<記載例> Experts warn of generative AI risks, urge govt action. (2023, May 26). The Japan news,

<https://japannews.yomiuri.co.jp/politics/politics-government/20230526-112164/>

また、公表時期や発行日が不明の場合、年号表示位置に (n.d.) と表示する。

<記載例> 厚生労働省から発出しているパンフレット

厚生労働省. (n.d.). 妊娠中の方、小さなお子さんをもつお母さんの放射線へのご心配にお答えします。 .

2024年11月14日アクセス. <https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000014hcd-img/2r98520000014hdu.pdf>

g. その他

上記のいずれにも該当しない引用文献の記載方法については、委員会で協議し、書式を決定する。

附 則

この要領は、平成26年6月12日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

この要領は、平成28年1月21日から施行し、平成27年7月1日から適用する。

この要領は、令和2年8月6日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

この要領は、令和4年6月23日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

この要領は、令和7年4月1日から施行する。